

## 令和5年度第2回学校運営協議会議事録

令和5年10月12日16時より、本校視聴覚室において第2回学校運営協議会を開催した。

I 出席者 学校運営協議会委員 6名（欠席3名） 本校教職員 22名（欠席1名）

### II 【議事録】

#### 1 開会 通信制 学校管理運営GL

#### 2 校長より

（委員の皆様は）各部会に参加をしていただき、様々なご感想ご意見をお持ちかと思しますので（本会議で）お聞かせいただけたらと思います。本日は学校目標の中間報告、中間評価という形で、文章にして、お手元にお配りしてあるかと思えます。各GLの方から（口頭での）報告もごございますので、遠慮なく、ご意見ご指摘をいただけたらと思います。

#### 3 各部会からの報告

定時制教頭 生徒支援・外国支援

各課程のとりくみについて中間報告を行いました。岡田団地の徳安様から、いろいろご意見を頂戴しました。相変わらず、本校の生徒がご迷惑をおかけしているという、ご意見もいただきましたので、我々の現状での取組を報告するとともに、今後も協力して生徒のモラル・マナーの向上に取り組むということを話し合いました。

通信制教頭 キャリア支援

指定校推薦についてのご質問、模擬試験について、就職する際の面接等の受け方などのことについてご質問がありました。また、2年生のうちにもどのような指導がなされているのかという質問がありました。

特に印象的だったのは指定校推薦が年々減っていて、そのかわり総合型選抜が増えているという点です。家庭と学校の連携がなければなかなかうまくいかない、結果がうまく出た生徒は家庭での指導が良いということも（事例としてあがりました）。また、ご家庭の方から学校へ、こんなことを聞いてもよいのだろうか、というご質問もありました。

小さなことでも学校側にどんどん聞いていただいて、生徒のために連携を進めていきます。

生徒のマナーについては、学校全体として取り組んでいかないと、進学就職にも関係してくるということなので、うちの課題です。頑張っていきたい。

全日教頭 授業開発環境整備

中学校と高校でのICT活用状況や教員側のスキルや生徒側の利用の仕方あり方の情報交換を行いました。今後こういった方向にいったらいいかというような話もありました。修正事項等はありません。

#### 4 学校目標（具体的な方策）

各課程の学校管理運営GLより説明

各課程より、第1回学校運営協議会資料に沿った中間報告がされた。

全日制学校管理運営GL

課程間併修について、具体的な手立てを協議している。来年度の履修に関して教員研修をした。

スポーツ大会を4年ぶり実施。進路指導では、三課程合同G会議を行うなどし、コンセンサスをもって調査書推薦会議を実施した。地域との協働では、コロナでできなかったクリーンウォークを4年ぶりに実施。防災関連については、厚木市市長室危機管理課と連絡を取っている。

#### 定時制学校管理運営GL

教育課程については全日制と同じく課程間併修について、具体的な手立てを協議している。授業評価を実施した。生徒支援ではSC、SSWとの連携、クラスユナイテッドも適切に行われている。学校行事では、生徒が活躍する場が増えている。キャリア支援では三課程の連絡をTeamsで行った。保護者向け進路説明会も実施。(地域連携の)クリーンウォークは荒天のため中止。3月に改めて実施する予定。柔軟な学びのシステムについてHPなどを通じてわかりやすく情報発信できた。(業務のスマート化については)校務分掌のグループ編成を6グループから3グループにする方向で検討している。

#### 通信制学校管理運営G教員

全日定時と協力しながらそれぞれのニーズにあわせた取り組みを行っている。

ICT活用を順次進めている。今年度はとくにClassroomでレポート授業の質問を受け付ける手段として活用をはじめた。各授業でICT機器を多用して生徒が見やすい授業を心がけている。

SC、SSWと情報共有会、講師連絡会を前期後期に行う。配慮が必要な生徒を全体で把握し、連携できる体制を整えている。

学校行事は6月遠足、研修旅行を5年ぶりに実施。学校での充実した生活を行えるようにしたい。生徒の満足度は、遠足90%、研修旅行95%以上を達成。成果が得られたと考えている。

進路指導では、模試を共同で実施。就職支援ツールの利用。カフェブランシュと連携して生徒支援を充実させている。

テーマ研究のマニュアルを作成した。キャリア教育の柱としてより充実した内容にしていきたい。

情報発信マチコミメールの登録が課題。緊急時の連絡手段だが、246人の登録で、年々登録が減っている。より多くの保護者に登録していただくように施策を考えている。

グループ編成では、仕事量の偏りを是正するため、来年度よりグループの人数を変更する。

## 5 委員からのご質問、ご意見・助言など

### 委員A

印象に感じたのが、コロナの影響がかなり収まって、コロナ前の活動に戻ってきたというのが嬉しいなと思いました。

通信制の研修旅行の満足度が95%以上というのは、生徒自身がそういう活動を望んでいたのかなという印象を受けました。いろいろな活動が復活したということもあり、生徒たちがますます主体的活動的に取り組めることがあるといいなと思います。

キャリア支援のことで、どう生徒に将来について意識付けるかという話があったのですが、難しい部分だなと感じます。高校1年生になり、ようやく入試が終わった、ほっとしたときに、次の進路をもう考えるのだと。ただ早い準備に越したことはないのだろうなと思います。金銭面のこともあったりするので、そういうのはちゃんと準備が必要。わからないことがわからない、という生徒もいるので、相談を気軽にできればいいのかなと思います。SEINAN祭でも通信制とコラボでカフェブランジュが出店、仕事について話そうというような企画があります。仕事についての不満、疑問などについて扱う予定です。どの課程の方でも、保護者、来客でも、ポストイットに書いてもらいたい。将来のことが不安なのは自分だけじゃないんだというところで(生徒に)ポジティブに捉えてもらえるとい

いのかなと思います。

#### 委員 B

いつもあたたかくはげましてくださっている先生方、ありがとうございます。  
資料を見ていて、やっと高校生らしい活動ができてきているのかなという印象を受けました。それを経験できる子、できなかった子というのがこれから分かれてくると思うので、今後の進路や、何か自分が選択するときに、(その経験の差が) 影響を及ぼさないかという心配もあるので、数年間は先生方に見守っていただいて、手を差し伸べていただく機会が増えるのかなと思います。親の視点からお願いしたいなと思います。

キャリアの部会に出席しました。今年度息子が4月くらいから就職活動をしています。経験してみても分かったこともありましたが。リクルートスーツって今時どんなのを選ばいいのか、カバンはどんなサイズか、と。その程度のことを学校に問い合わせたいのだろうかと思って、子どもにどうなのと問い詰めてしまったこともあります。子ども自身はまだぼやーっと、面接をうけるのは理解しているけれど、いろいろとわからない、知らない、興味がない、実感がわいていないという気がしたので、家庭でサポートしないといけないのだろうなとは思いますが、(就職活動の) 情報が入ってこないのも、どの辺りまで学校がサポートしてくれるのか親としてはよく分からないなと。

マチコミの登録率が低いということもあって、PTA でも先生方に就職進学について資料をつくっていただいて説明をして頂く機会をもうけたのですが参加率が悪い。家庭と学校をどう繋ぐかというのが(今後の) 課題になってくるのかなと思う。

いろんなツールがあるのでそれを上手く使って子どもにも協力して貰う形で、学校、子ども、親でうまく連携していろいろなことをやっていけたらいいなと思うので、ご協力いただければなと思います。

#### 委員 C

キャリア支援部会では、(進学する) 学校が決まったがお金が準備できなくて進路を諦めた生徒がいると聞きました。様々な事情を抱えた生徒が多く、親御さんのほうが他人事のように考えている、ということもあるようです。

既に学校で取り組まれていることではあるのかとは思いますが、生徒たちが1年生の段階で保護者向け、あるいは生徒と保護者合同でもいいので、どういうスケジュールで進路が進んでいくのか、それとあわせて学生支援機構や新聞奨学金など奨学金のことなど、今後の進路の進み方をプランニングするような進路ガイダンスを設けていただきたいなと思います。

親が期待できないのであれば、自分が3年生になるまでにどれくらいアルバイトで資金を用意すればいいかなども必要な知識となります。親がお金をもっていなくても新聞奨学生などがあるんだということも分かれば、進学を諦めてしまわないで学生生活をスタートできる。早い段階でのガイダンスを設けていただきたい。三課程のPTAも協力していきたい。

他の点としてお聞きしたいのは、コミュニティ・スクールと学校運営協議会の関係についてです。今回の資料にもありますが、ご説明していただければと思います。

#### 委員 D

(キャリア支援部会に出席して) 子どもたちの卒業後の進路についていろいろなことをやっていただいているんだなと感じました。最終的には子どもと親で話していかないといけないんだなと。自分の意識も、娘とそういう時間を持つことも大事だなと気づかされました。

昨日、県央地区大会に参加したとき、自転車についてシールを貼っているか、自転車が壊れていないかなど、自転車の保守点検を PTA でしていると聞いた。まだまだ高校生だと地元で自転車に乗ったりしている。この前スタントマンがきて見せてくれた（スケアードストレート：全日制実施）そうだが、イヤホンして自転車に乗って帰るものの危険性や、身近にある交通マナーをもう少し教えてあげられればと思いました。PTA でできること、学校でもできることをやっていければと思います。

#### 通信制学校管理運営 G L

私も横浜から自転車で通勤。この前転倒して怪我をしました。交通安全についてしっかりやっていく必要はあるなと考えています。

#### 委員 E

代理でまいりました。代行員として日常的に学校へ出入りさせてもらっていて気づいたことがあります。

スポーツ大会、元気にやられているなと思います。しかし、グラウンドに草が沢山生えていて、生徒が転ばないかなと心配です。もっと草刈りしたほうがいい。使わないから草が生えるので、地元住民に校庭を開放していただけたらいいかなと、年配の方の健康のために屋外でスポーツなど活動できる場があったらなあと自治会的には思っています。

緊急時についてなのですが、高校の場合は地元民の受け入れはできないのでしょうか。厚木清南高校の受入対象はどの地域だろうなというのと、備蓄品のキャパはどれくらいで、(地域住民の) 受け入れは可能なのかなというのが、世間で地震などの災害対策の必要性を問われるなか、気になります。こちらの高校に避難していいのか、第二小に行くのか。できればこちらに来る方が岡田団地としては助かる。

定時制でクリーンウォークをされると思うのですが、夜に沢山の生徒が歩いていると、なんだなんだ、と住民が騒ぐことがあるので、あらかじめ日程を教えていただければ自治会として情報を流すので、連絡をお願いいたします。

#### 委員 F

授業開発部会に出席いたしました。こういった機会に高校の先生方と意見交換ができるというのがとても幸せなことであり、中学校側ももう少しいろいろなことを配慮しながら子どもたちに支援しなきゃいけないのかなと感じました。

ICT 機器について、学びの機会を広げて昨年度からスタートした取組が色々な形で達成感に繋がるような内容に広がっているなと嬉しく思いました。

中学校では市町村教育委員会からクロームブックを一人一台端末で配当していただいていますので、各教室に充電器が設置されていて、すべてそこで管理されている。生徒たちは当たり前のような形でタブレットを使うことに抵抗感がないような環境となっています。

本校からも進学している子もおりますので、高校の先生方のご指導の方で思うようになっていないことや、もう少し改善して欲しいというものを、中学校段階で指導したり支援したりするべきところは育てて送り出していないといけないなと新たな課題をいただいたと感じております。

本協議会での内容は中学校の校長会議でも伝えていきたいと思います。いつも色々な形でご支援いただいていることに感謝いたします。

## 通信制学校管理運営GL

本校は厚木市より避難所に指定されております。避難所運営委員会をつくるようお願いしているのですが、第二小と相川小のはざまということでこの避難所運営委員会をつくることはできないと言われております。

一時避難所ということで、小学校で人数が溢れたらこちらに避難すると言われております。ですので、殆どこちらには避難者は来ないと厚木市からは言われておりますので、話が進んでいない状況です。

## 委員 B

自分の子供の事例ですが、タブレットを小学校中学校と使ってきて、就職のテストをうけるときにタイピングでの入力があって、大学もPCを買ってくださいとのことでした。タイピングがやはり不安だと思います。練習する機会がない。家族全員スマホをもっているのにスマホで済ましているのに、家にPCがない。練習する場がないという感じだったので、今後考慮していただけるとありがたいなと思います。

## 全日制広報研究 GL

全日制定時制では、県推奨はキーボードがついているものをということなので、キーボードがついている形で一人一台端末を導入しています。iPadであっても付属でキーボードをつけることもできるので、そちらもセットでご購入をお願いしている。

タイピングについては、全日制の情報では毎時間タイピングの練習をしようということで、パソコン検定でも使われているような題材で練習している。それでも生徒たちはスマホのほうが慣れていて速いということはあるのですが、やはり慣れていかないと上達していかないのでそういう機会をつくることができればと思っています。

## 校長

コミュニティー・スクールは、4年ぐらい前に始まりました。前は学校評議員会という名前だったのですが、学校運営協議会になりました。学校の運営に関して地域の方々のご意見を反映した形で運営しましょうということで、学校運営協議会という名前になり、コミュニティー・スクールというのが始まりました。

ここに資料を載せた主旨というのは、学校運営協議会にご理解いただきたいということで、お時間があつたらこちらのYoutubeを見てください、ということです。

## 委員 C

現在もこれはコミュニティー・スクールということですか。

## 校長

そうです。

## 通信制学校管理運営GL

なかなか理解がすまないということで県のほうでこういう説明会があるということですので、ご参加いただければと思います。

## 委員 C

さきほどの避難所運営委員会なども、近隣の校長先生なども参加していただいて、どういうルートで確保するのかという流れができてくるのかなと思うんですね。

コミュニティー・スクールっていういろんな主旨でやっているの、校内でというのも、外部から参加してというかたちもある。避難所運営についてはうまく利用できるのではないかなと思います。

## 6 講評（委員 F より）

厚木清南高校の三課程、取組はそれぞれ違うところはあると思うのですが、生徒たちの未来に向かって三課程の先生方がこのように協力して1つの学校を創っていくという、県内でも他にない、非常に価値ある大きな成果を出せる学校体制だと思っています。

（会議の中で）コミュニティー・スクールの話もありましたが、厚木第二小の校長もこの学校運営協議会のメンバーなので、（連携について）第二小の校長にもお伝えしておきます。

地域との連携というのがありますから、地域の皆様方、PTAの皆様方が幅広く学校経営に役立っていくというのが大きな目標としてあり、社会の中の学校として、もっともっと幅広く地域の方に（厚木清南の教育活動を）見ていただきながら活性化につなげていく。（多くの人の ）お力添えがあつての取組になると思いますので、（今後の）良い活動に繋げていけたらいいなと思います。

## 7 閉会